

授業構成図

本時のねらい

会話や行動から、登場人物の気持ちや出来事を読み取ることができる。

キャリア教育の視点☆

自分の意見を友だちに分かりやすく伝えることができる。「コミュニケーション力」

目指す子どもの姿

S 十年後のゆみ子たちの気持ちや出来事を戦争中と比べながら読み取り、意見を交流することができる。
A 十年後のゆみ子たちの気持ちや出来事を読み取ることができる。

つまづきをなくすために

判断

お父さんがいないから、ゆみ子はとても悲しそうだよ。

原因

第一場面・第二場面での読み取りが不十分

第一場面・第二場面での時代背景や人々の様子について読み取り、ベン図に残しておく。

見通しや実行方法を発想する場面

⑤ 戦争中と戦後の違いについて考える。

④ 戦争中と戦後について比較しやすいようにベン図を活用する。

⑥ 比較して気付いたことを全体で交流する。☆

C 「一つだけ」って言っていたゆみ子が「肉と魚どっちがいい」と聞いていました。

C ゆみ子が買物にいけるようになったんだと思います。

⑦ お父さんに手紙を書く。

① お母さんの立場になってお父さんに手紙を書いてみましよう。

C ゆみ子が小さなお母さんになってお昼を作れるぐらい大きくなりましたよ。

C 今は、コスモスの花がいつぱいに包まれて、暮らしていますよ。

⑧ 次時への見通しをもつ。

T 比べて同じだったのは、「一つの花」でしたね。この題名について次は考えていきましょう。

⑨ ふりかえりを行う。

対象と既有的の知識とを関連づけ、対象が生じる原因を類推

課題を見出す場面

① 前時までの振り返りをする。

T 第二場面でのお父さんの思いはどんなものでしたか。

C ゆみ子に幸せになってもらいたいと思っています。

C 幸せな将来を過ごしてもらいたい。

② 第一場面・第二場面と第三場面の違いを発表する。

T 今日第二場面を読んでいきます。第一場面や第二場面との大きな違いはありますか。

C 戦争が終わっています。

C 十年経っています。

③ 学習課題をたてる。

十年後のゆみ子たちの気持ちや出来事を読み取ろう。

T ゆみ子たちの気持ちに変化はあるでしょうか。

C あると思います。理由は、十年も経っているのと戦争がおわっているからです。

④ ルーブリックの設定をする。

T この時間のAとSを設定しましょう。

④ 学習意欲を高めるために子ども達とともにルーブリックを設定する。

対象と既有的の知識との「ズレ」を認識

スキル
「比べる」
↓
ツール
「ベン図」

